

平成25年度第2回いしかわ森林環境基金評価委員会  
次 第

平成25年11月22日（金）

- 1 現地視察 9：00～
- ① 木に親しむ環境づくり推進事業 野々市市本町
  - ② 森林整備事業実施林（侵入竹除去） 能美市金剛寺町
  - ③ 森林整備事業実施林（強度間伐） 白山市野地町
- 2 評価委員会（石川ウッドセンター） 13：15～
- ・あいさつ 橋場農林水産部次長
  - ・議事
    - （1）平成25年度第1回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要
    - （2）平成24年度取組実績について
    - （3）平成24年度いしかわ森林環境基金事業評価報告書（案）
    - （4）その他

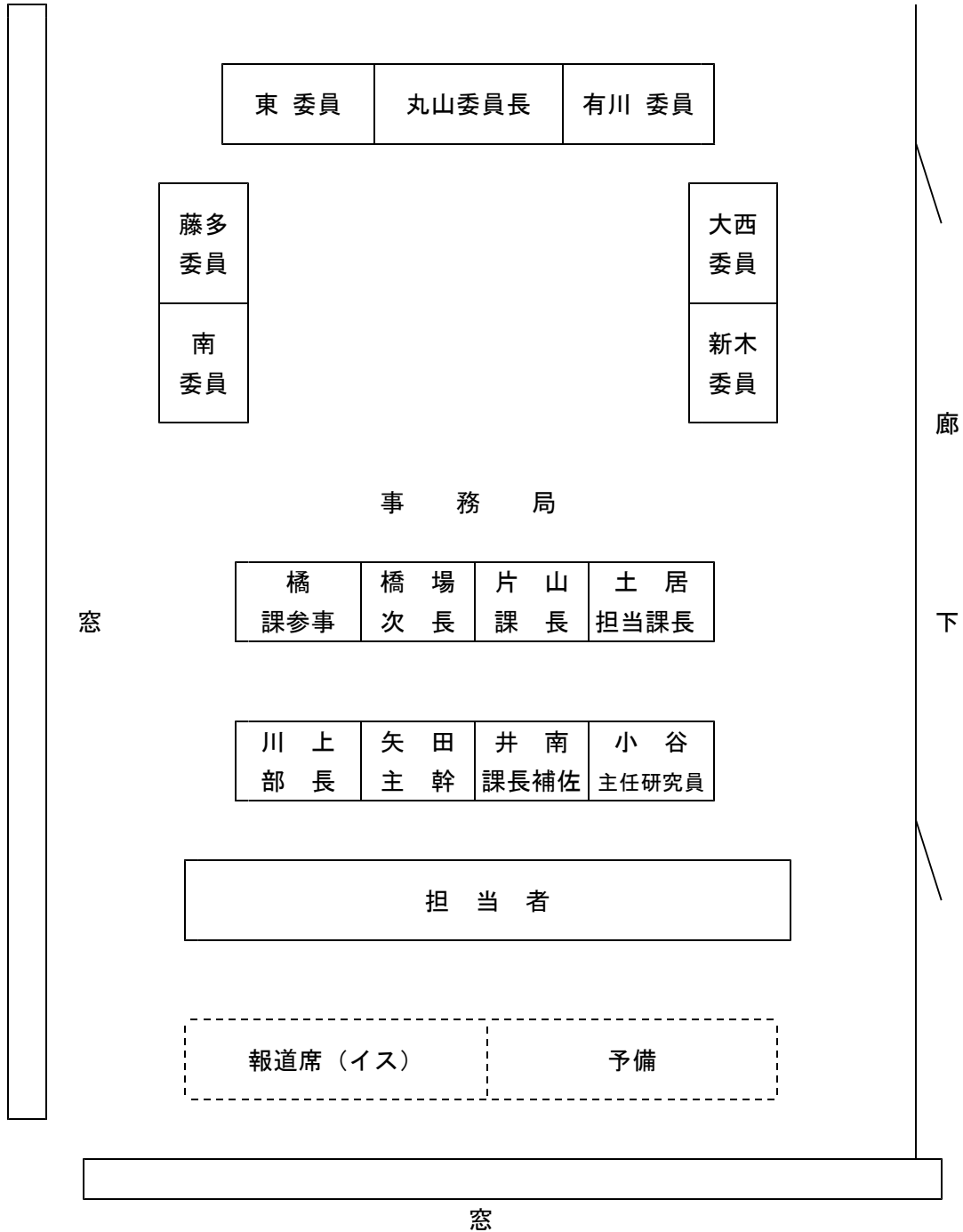
いしかわ森林環境基金評価委員会 委員名簿

氏 名	役 職 等
有 川 光 造	石川県森林組合連合会会長
石 倉 紀久子	医療法人社団「和泉会」佐原病院 ディケアセンター長
大 西 亮 子	中能登町地球温暖化防止推進協議会 副会長
梶 文 秋	輪島市長
越 島 正 喜	石川県商工会議所連合会専務理事
新 木 順 子	石川県漁業協同組合女性部長
中 島 史 雄	金沢大学名誉教授・弁護士
中 村 浩 二	金沢大学学長補佐・特任教授
東 良 勝	石川県町会区長会連合会会長
藤 多 典 子	石川県婦人団体協議会会長
丸 山 利 輔 (委員長)	石川県立大学参与
南 洋 子	元石川県商工会連合会参与
( 1 2 名 )	

(敬称略：五十音順)

# 平成25年度第2回いしかわ森林環境基金評価委員会 座席表

場所：石川ウッドセンター  
2階 研修室



# いしかわ森林環境基金評価委員会 設置要綱

## (設置目的)

第1条 いしかわ森林環境基金条例（石川県条例第41号）第1条に定める「いしかわ森林環境基金」（以下「基金」という。）を財源とした事業の成果を検証・評価するとともに、事業の継続や見直しの必要性について検討するため、「いしかわ森林環境基金評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、もって、同事業の透明性の確保と県民の理解増進にも資する。

## (検討事項)

第2条 委員会は、次の事項について検討する。  
(1) 事業実績及び事業成果等の検証・評価に関すること  
(2) 事業の継続や見直しの必要性に関すること  
(3) その他事業の推進に関すること

## (組織)

第3条 委員会の委員は、市町長及び学識経験者、経済、社会教育、県民・消費、農林水産関係団体の有識者からなるものとし、別紙のとおりとする。  
2 委員会に委員長を置くものとし、委員の互選により選出する。  
3 委員長は、会務を総理し、委員を代表する。

## (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。  
2 委員の再任は、妨げない。

## (会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長は委員長があたる。  
2 委員長に事故があるときは、委員長が指名する委員がこれを代行する。  
3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。  
4 委員会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。  
5 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の時は、委員長の決するところとする。

## (議事内容の公表)

第6条 委員会は、原則として公開により実施し、議事内容は、議事要旨により公表する。

## (庶務)

第7条 委員会の庶務は、石川県農林水産部森林管理課において行うものとする。

## (その他)

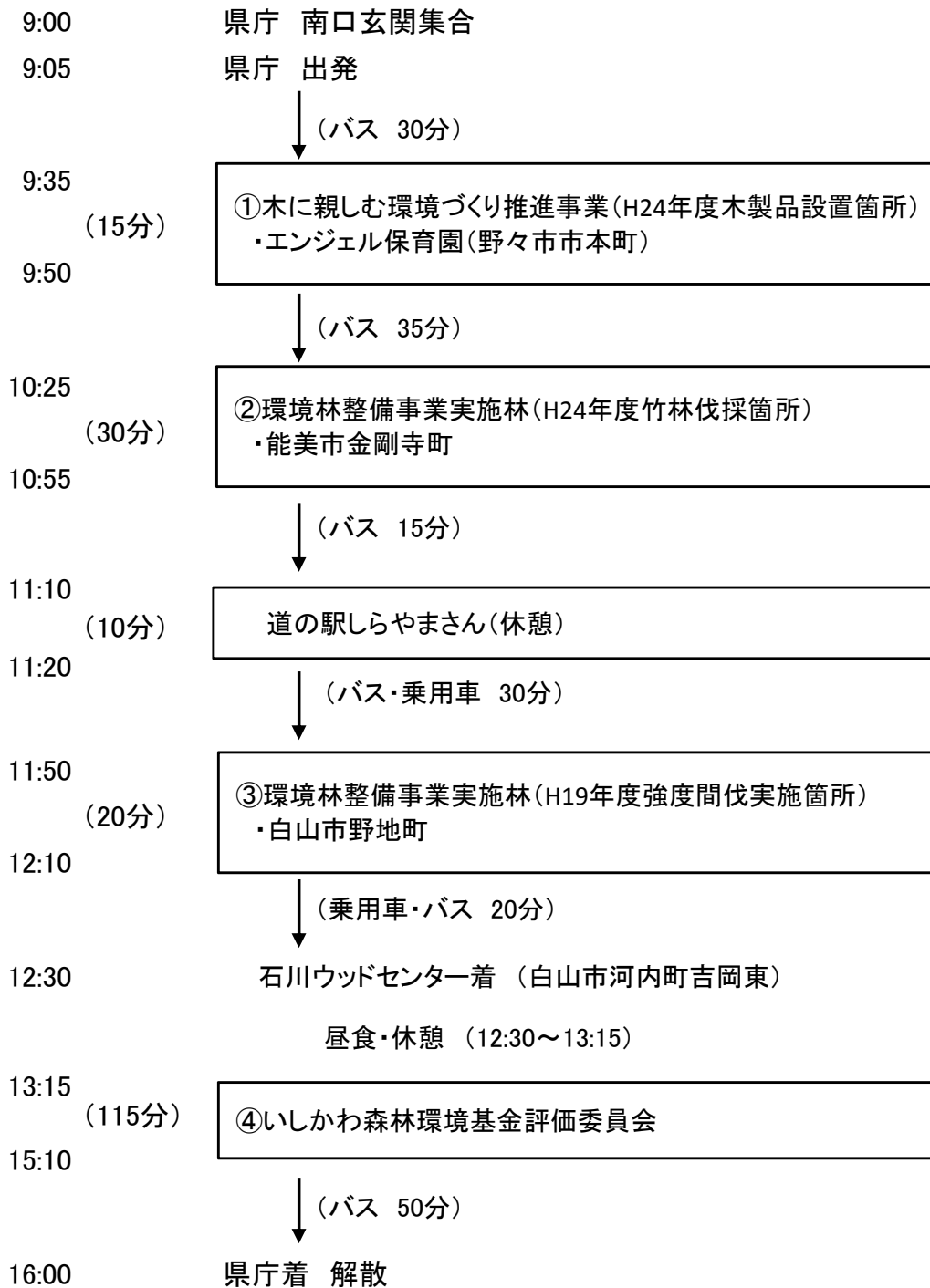
第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は委員会で定めるものとする。

## 附則

この要綱は、平成20年6月9日から施行する。  
一部改正 平成24年4月2日

# 平成25年度第2回森林環境基金評価委員会現地視察日程

平成25年11月22日(金)



## 平成25年度第1回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要

1. 日 時：平成25年7月31日（水） 10:00～
2. 場 所：県庁行政庁舎 1101 会議室
3. 出席状況：委員 9 名
4. 議 題：(1) いしかわ森林環境基金事業の第二期（平成24～28年度）取組内容と平成24年度の取組実績  
(2) 環境林モニタリング調査—平成24年度までの結果—
5. 委員から出された主な意見
  - ・各ソフト事業について、予算や使い道等がわかる資料があった方がよい。
  - ・森林環境税のロゴマークなどがあった方がよりPRにつながる。
  - ・竹をもっと利用できる方向に、技術や技術者の養成が進んでほしい。
  - ・ソフト事業で、小学生やいろいろな団体の参加があるが、参加者等に対するアンケート調査などによる成果の評価が必要である。
  - ・第二期では7,000haの強度間伐を実施する計画であるが、現場では林道の作設が進み、利用間伐できる山が増えてくると思うので、その分の予算を山村の周辺を明るくする緩衝帯の整備や竹の伐採に重点配分できるよう考えていただきたい。
  - ・モニタリング調査について、労力がかかっても精度が落ちないようにしていただきたいし、調査項目を増やすことも考えた方がよい。それには、もう少し予算や人手をかけられるような体制が必要であり、地域の専門家等にも協力いただいて実施した方がよい。
  - ・水資源の条例にも関わり、各県で境界の明確化に向けた動きがでていますが、石川県でも県全体で取り組んでいただきたい。
  - ・生態系のモニタリングだけでなく、森林環境税が社会的な条件でどのように集落や経済に影響をおよぼしているかという社会経済的なモニタリングをもっと正面から取り入れる必要がある。

# いしかわ森林環境基金事業の 平成24年度の実績について

# 平成24年度いしかわ森林環境基金事業予算額

ソフト事業予算額 37,000千円 (うち環境税 37,000千円)

1 森林に対する理解の増進 **10,800千円**

○ いしかわの森づくり普及広報推進事業 **5,900千円**

- ・新聞広告やチラシ等による普及広報
- ・各種イベントにおけるPRの実施
- ・森づくり活動事例発表会の開催 等



新聞広告

○ いしかわ木に親しむ環境づくり推進事業 **2,000千円**

- ・県産材を使った木製品を公共施設等の広く県民の目に触れる場所に設置した団体に支援  
→ (H24) 助成先: 7団体



あおば保育園  
(小松市沖町)



## ○ いしかわ森林環境功労者の表彰

→ (H24) 表彰者数: 4団体

100千円

県民みどりの祭典にて表彰  
(津幡町)



## ○ いしかわ森林環境実感ツアー

・一般県民や小学生を対象とした、手入れ不足人工林やその整備状況等の現地を見学するバスツアーの開催

→ (H24) 一般: 3回、小学生: 5校

2,000千円

いしかわ森林環境実感ツアー  
(白山市)



## ○ いしかわ景観キッズプログラム(土木部都市計画課)

・子供達を対象に里山の景観保全と森づくりの大切さを理解する体験学習を実施

→ (H24) 参加数: 21名

800千円

いしかわ景観キッズプログラム  
(能登町)



## 2 県民参加の森づくりの推進

26,200千円

### ○ こども森の恵み推進事業

5,000千円

・NPO法人等が子供達を対象に行う森林環境教育や森林体験活動を支援

→ (H24) 助成先: 25団体

こども森の恵み推進事業  
(金沢市)



### ○ いしかわの森づくり推進月間事業

2,500千円

・毎年10月を「いしかわ森づくり推進月間」と定め、県下全域で県民森づくり大会を実施

→ (H24) 5箇所で開催

いしかわの森づくり推進月間  
(志賀町)



### ○ 企業の森づくり推進事業

1,000千円

・森づくり活動による社会貢献に意欲的な企業を支援するため、企業と協定を締結し、社員や家族、地元住民が協働して森づくり活動を実施

→ (H24) 新規締結企業数: 6企業

企業の森づくり  
(七尾市)



## ○ いしかわ身近な森保全事業

11,000千円

・森林所有者等と協定を締結し、里山林の整備保全等を協働して行う市町等を支援

→ (H24) 交付先: 6市町  
(金沢市、白山市、七尾市、加賀市、  
能美市、小松市)



いしかわ身近な森保全事業  
(金沢市)

## ○ 森づくりボランティア推進事業(環境部里山創成室)

3,700千円

・NPO等が自主的に行う森づくり活動を支援

→ (H24) 助成先: 19団体



森づくりボランティア推進事業  
(金沢市)

○ 里山子ども園推進事業(環境部自然環境課)

- ・保育園児等を対象に里山を活用した環境教育を実施  
→ (H24) 参加保育園数: 32園

2,000千円



里山子ども園推進事業

○ いしかわの森整備活動CO2吸収量認証事業  
(環境部地球温暖化対策室)

- ・企業等が行う森づくり活動による二酸化炭素の  
吸収量証書を交付  
→ (H24) 交付団体数: 16団体

1,000千円



谷本知事より証書を交付

平成24年度森林環境基金事業(ソフト)一覧		(単位:千円)	
区分	事業内容	H24予算額	H24決算額
森林 に 対 す る 理 解 の 増 進	いしかわ森林環境基金評価委員会 事業の成果を検証・評価する評価委員会の開催	600	430
	いしかわの森づくり普及広報推進事業 ・農林漁業まつり等のイベントを活用した普及広報の実施 ・新聞広告やチラシ等による普及広報	5,300	4,711
	いしかわ木に親しむ環境づくり推進事業 県内の公共施設等に県産材を使った木製品を設置し、森林環境税(森づくり)の取組の「見える化」を推進	2,000	2,000
	いしかわ森林環境功労者表彰 森林環境の保全に対する貢献が顕著である者の表彰	100	159
	いしかわ森林環境実感ツアー ・一般県民を対象とした手入れ不足林整備状況等を見学するためのツアーの開催 ・小学生(公募の小学校)を対象とし、森林の恵み(公益的機能)等についての森林環境教育や森林林業の現状等を社会見学するツアーの開催	2,000	2,000
	いしかわ景観キッズプログラムの開催(都市計画課) 景観と森づくりの大切さを理解する体験学習の実施	800	800
	小計	10,800	10,100
県 民 参 加 の 森 づ く り 推 進	こども森の恵み推進事業 次世代を担う子供達を対象とした森林環境教育や体験活動を実施するNPO等への支援	5,000	4,859
	いしかわの森づくり推進月間事業 毎年10月を「いしかわの森づくり推進月間」とし、県内各地で県民森づくり大会の開催	2,500	2,320
	企業の森づくり推進事業 ・企業による森づくりを推進するための活動事例集の作成 ・企業に対する説明会、現地見学会などの開催	1,000	1,000
	いしかわ身近な森保全事業 ・集落等と協定を締結し、集落周辺の森林整備保全を協働して行う市町への支援 ・野生獣(クマやイノシシなど)による被害が深刻な集落周辺の森林において協働して森林整備・保全を行う市町への支援	11,000	14,000
	森づくりボランティア推進事業(里山創成室) 里山等の保全活動を行うNPO等への支援	3,700	3,456
	里山子ども園推進事業(自然環境課) 保育園児等を対象とした森の保育園体験プログラムの実施	2,000	2,000
	石川の森整備活動CO2吸収量認証事業(地球温暖化対策室) 企業等が実施した森づくり活動に対するCO2吸収証書の発行	1,000	824
	小計	26,200	28,459
合計	37,000	38,559	

平成25年度いしかわ森林環境基金事業  
評価報告書（案）

平成25年11月22日

いしかわ森林環境基金評価委員会

## いしかわ森林環境基金評価委員会意見

### 1 意見

平成24年度の「いしかわ森林環境基金事業」の主な取組と実績については、おおむね適切であり、引き続き、手入れ不足人工林の解消による公益的機能の確保、及び県民の理解と参加による森づくりの推進に努められたい。

### 2 付帯意見

今後、いしかわ森林環境基金事業の執行等に際し、以下の点について、適切に対応されるよう申し添える。

- (1) ソフト事業について、小学生やいろいろな団体の参加者等へのアンケート調査などによる成果の評価について検討すること。
- (2) 第二期では7,000haの強度間伐を実施する計画であるが、現場では林道の作設に伴い、利用間伐できる山が増えることも想定されるため、その場合、その分の予算を山村の周辺を明るくする緩衝帯の整備や竹の伐採に重点配分できるよう検討すること。
- (3) モニタリング調査の精度の確保のための予算・人手の体制の強化や、地域の専門家等にも協力を得て実施することを検討すること。
- (4) 森林環境税による集落や経済への影響といった社会経済的な評価についても検討すること。

# いしかわ森林環境基金事業の第二期（平成24～28年度）取組内容と 平成24年度の実績

## I 手入れ不足人工林の整備（ハード事業）

### 1 22,000haの手入れ不足人工林の解消

第二期においては、当初想定した22,000haの手入れ不足人工林のうち、第一期における強度間伐10,400haを差し引いた残り11,600haについて整備を行い、手入れ不足人工林の解消を目指す。

残り11,600haの整備にあたっては、近年の合板工場における間伐材の需要拡大、路網整備への支援強化等、間伐材の利用促進に向けた情勢の変化を踏まえ、可能な限り利用間伐により整備を進めていく（この場合、既存の造林公共事業を活用）。

当面の見込みとしては、今後の集約化に向けた取組の進捗状況等により変動するが、7,000haを森林環境基金事業による伐捨間伐、4,000haを造林事業による利用間伐として想定。

### (1) 整備面積（強度間伐）

平成24年度の整備面積については、次表のとおりである。

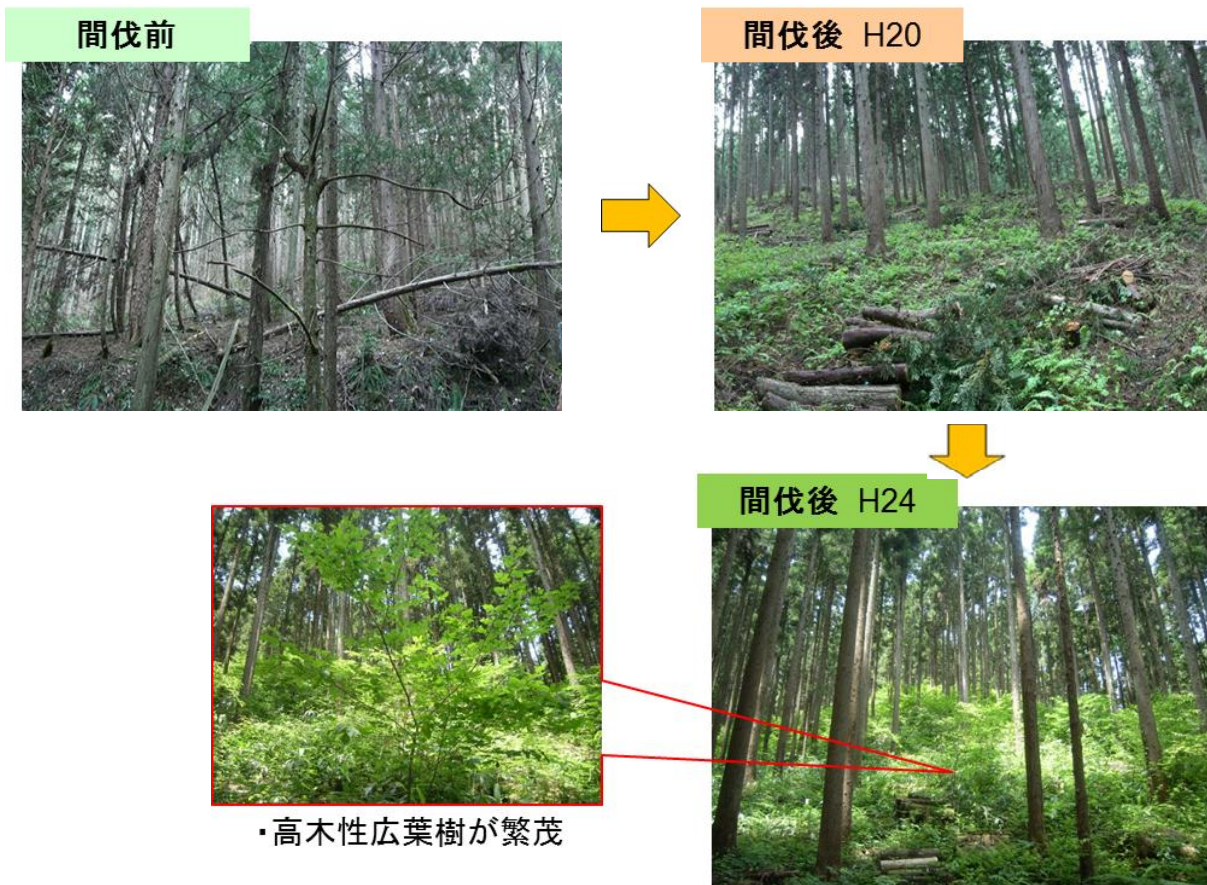
単位：ha

区分	第一期						第二期	計
	H19	H20	H21	H22	H23	小計	H24	
強度間伐	1,300	2,041	3,055	2,069	2,085	10,550	1,500	12,050

※各年度予算で実施した間伐等の面積であり、H24実績はH25への繰り越し分を含む。

※ H23年度(第二期計画段階)では第一期の強度間伐の実施面積を10,400haと想定したが、第一期の実績は10,550haとなった。

### ■強度間伐の実施状況（輪島市三井町 地内）



・高木性広葉樹が繁茂

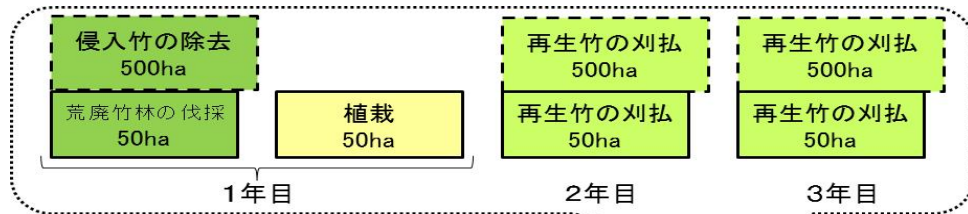


## 2 ハード事業における新たな取組 <竹の除去>

竹林の管理放棄に伴う周辺森林への生育拡大により、森林の公益的機能の低下が懸念されていることから、第二期対策において竹の除去を実施。

竹が侵入している手入れ不足人工林約 500ha について、強度間伐と併せて侵入竹の除去を実施するとともに、侵入竹の発生源となっている荒廃竹林 50ha について、竹の皆伐、広葉樹の植栽等により広葉樹林へ転換。

竹を伐採した翌年以降に再生する竹の刈払いは 2 年間実施する。



環境基金事業(第二期)における竹の整備面積

単位: ha

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	第二期計
強度間伐	1,500	1,450	1,400	1,400	1,250	7,000
侵入竹の除去	100	100	100	100	100	500
荒廃竹林の伐採	10	10	10	10	10	50
植栽	10	10	10	10	10	50
再生竹の刈払	0	110	220	220	550	1,100
計	1,620	1,680	1,740	1,740	1,920	8,700

単位: ha

### (1) 整備面積 (侵入竹の除去等)

平成24年度の整備面積については、右表のとおりである。

区分	第二期	計
	H24	
侵入竹の除去等	120	120

※H24実績はH25への繰り越し分を含む。

### ■ 侵入竹除去の実施状況 (加賀市菅谷 地内)

伐採前



伐採後 H24



### ■ 荒廃竹林の伐採の実施状況 (津幡町小熊 地内)

伐採前



伐採後 H24



## Ⅱ 県民の理解と参加による森づくりの推進（ソフト事業）

第一期に引き続き、「森林に対する理解の増進」と「県民参加の森づくりの推進」を2本柱として、施策を展開。

### 1 ソフト事業における平成24年度の新たな取組と実績

#### (1) いしかわ木に親しむ環境づくり推進事業

森林の公益的機能の発揮に寄与する県産材の利用を推進するため、県産材を使用した木製品を作成し、県内の公共施設等の広く県民の目に触れる場所に設置する活動に支援

#### ■平成24年度 助成一覧

団体名	設置場所	設置施設名	木製品
金沢市林業振興協議会	金沢市湯涌町	湯涌温泉観光協会	テーブル、ベンチ
社会福祉法人崎浦福祉会上野保育園	金沢市小立野	上野保育園	テーブル、ベンチ
社会福祉法人紫志の会エンジェル保育園	野々市市本町	エンジェル保育園	テーブル、ベンチ、プランター等
社会福祉法人吉竹福祉会住吉保育園	津幡町庄	住吉保育園	ベンチ
社会福祉法人 さいび園	金沢市長土堀	さいび園	プランターカバー
小松市役所緑花公園課	小松市日末町	安宅スマートIC内ふれあい健康ひろば	長テーブル、テーブル、ベンチ等
社会福祉法人 あおば福祉会	小松市沖町	あおば保育園	遊具(デッキ)



安宅スマートIC内ふれあい健康ひろば  
(小松市日末町)



あおば保育園 (小松市沖町)

#### (2) こども森林環境実感ツアー

小学校の授業の一環として、県内の小学生を対象に、森林環境教育や林業の現場を体験するツアーを開催

#### ■平成24年度 実施小学校一覧

日付	参加学校	参加人数
9/28(金)	金沢市立安原小学校	88
10/5(金)	加賀市立分校小学校	18
10/11(木)	加賀市立庄小学校	24
10/12(金)	金沢市立中央小学校	102
10/30(火)	かほく市立金津小学校	14
	計	246



木材加工施設の見学



搬出間伐現場の見学

### (3) いしかわ身近な森保全事業（拡充）

クマ、イノシシ等の野生獣の出没による被害が懸念される集落周辺の森林においてバッファゾーン（緩衝地帯）の整備等を地域住民等と協働して行う活動についても支援を行えるよう拡充した。

#### ■平成24年度 実施箇所一覧

事業主体	事業内容	実施場所
加賀市	野生獣の被害が深刻な森林の整備・保全（緩衝帯の設置）	加賀市百々町
小松市	野生獣の被害が深刻な森林の整備・保全（緩衝帯の設置）	小松市那谷町
	野生獣の被害が深刻な森林の整備・保全（緩衝帯の設置）	小松市花坂町
能美市	野生獣の被害が深刻な森林の整備・保全（緩衝帯の設置）	湯屋町、徳山町
白山市	除伐、下刈、植栽、木材利用（歩道の階段）	白山市尾添
	野生獣の被害が深刻な森林の整備・保全（緩衝帯の設置）	白山市釜清水
金沢市	除伐・竹伐採、歩道整備、木材利用（木工作材料、歩道の階段）	金沢市（岩出町、堅田町、深谷町、不動寺町）
	枯損木伐採、歩道整備、植樹、木材利用	金沢市上辰巳町
七尾市	野生獣の被害が深刻な森林の整備・保全（緩衝帯の設置）	七尾市八田町

#### ■緩衝帯整備の実施状況（小松市那谷 地内）



## 2 その他のソフト事業の実績

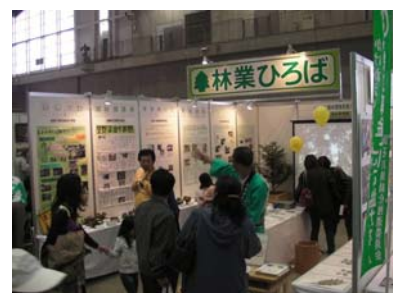
### (1) 森林に対する理解の増進

○県民の理解を増進するための普及広報を継続実施

- (1) 市町の広報誌に事業の実施状況を掲載
- (2) 新聞に事業成果などを掲載
- (3) チラシ、パンフレットの配布
- (4) 環境フェア、農林漁業まつりなど各種イベントにおけるPRの実施



新聞広報



農林漁業まつり

○いしかわ森林環境実感ツアー

手入れ不足人工林の現場と間伐実施林などを見学

区分	H21	H22	H23	H24
ツアー回数	5回	3回	3回	3回
参加者数	131人	68人	66人	60人



いしかわ森林環境実感ツアー（白山市）

○森づくり活動事例発表会の開催

森づくり活動を実施した団体による活動発表会の開催

区分	H22	H23	H24
参加者数	94人	89人	91人



事例発表会開催（県庁）

○いしかわ森林環境功労者の表彰（県民みどりの祭典にて表彰）

区分	H21	H22	H23	H24
表彰者数	5	3	3	4
表彰者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)玉家建設</li> <li>・のと共栄信用金庫</li> <li>・室達山水源の森協議会</li> <li>・石川フォレストサポーター会</li> <li>・南出登喜雄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(特)森林環境保全・里山物語</li> <li>・穴水町林業研究会女性部</li> <li>・山村正信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高坂・根上町緑を守る会</li> <li>・(特)能登半島</li> <li>・おらっちゃんの里山里海</li> <li>・生活協同組合コープいしかわ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェイ・バス株式会社</li> <li>・株式会社サークルKサンクス</li> <li>・石川県立大聖寺高等学校</li> <li>・金丸出町請山利用生産組合</li> </ul>



県民みどりの祭典にて表彰  
（津幡町）

○いしかわ景観キッズプログラム（土木部都市計画課）

子供達を対象に里山の景観保全と森づくりの大切さを理解する体験学習を実施

区分	H21	H22	H23	H24
参加数	152人	19人	135人	21人



いしかわ景観キッズプログラム  
（能登町）

(2) 県民参加の森づくりの推進

○こども森の恵み推進事業

NPO法人等が子供達を対象に行う森林環境教育や森林体験活動を支援

区分	H21	H22	H23	H24
団体数	17団体	20団体	19団体	25団体
参加者数	3,521人	4,826人	4,701人	5,069人



こども森の恵み推進事業（金沢市）

○いしかわの森づくり推進月間事業

毎年10月を「いしかわ森づくり推進月間」と定め、  
県下全域で県民森づくり大会を実施

区分	H21	H22	H23	H24
森づくり大会	6回	6回	5回	5回
参加者数	588人	585人	707人	492人



いしかわの森づくり推進月間事業（志賀町）

○企業の森づくり推進事業

森づくり活動による社会貢献に意欲的な企業を支援するため、  
企業と協定を締結し、社員や家族、地元住民が協働して森づくり活動を実施

区分	H21	H22	H23	H24
締結企業数(新規)	5企業	5企業	7企業	6企業
締結企業数(のべ)	18企業	23企業	30企業	36企業
活動フィールド	20地区	26地区	34地区	40地区
参加者数	3,020人	3,148人	3,325人	4,334人



企業の森づくり推進事業  
（七尾市）

○森づくりボランティア推進事業（環境部里山創成室）

NPO等が自主的に行う森づくり活動を支援

区分	H21	H22	H23	H24
団体数	15団体	16団体	13団体	19団体
参加者数	2,669人	2,225人	2,312人	2,495人



森づくりボランティア推進事業（金沢市）

○里山子ども園推進事業(環境部自然環境課)  
 保育園児等を対象に里山を活用した環境教育を実施

区分	H21	H22	H23	H24
参加者数	398人	704人	673人	1117人
参加保育園数	10園	24園	23園	32園

※H24に「もりの保育園」から「里山子ども園」に名称変更



里山子ども園推進事業

○石川の森整備活動 CO2 吸収量認証事業  
 企業等が行う森づくり活動による二酸化炭素の吸収量証書を交付

H21		H22		H23		H24	
団体名	総定 吸収量 (t-CO2)	団体名	総定 吸収量 (t-CO2)	団体名	総定 吸収量 (t-CO2)	団体名	総定 吸収量 (t-CO2)
8団体		10 団体		12 団体		16 団体	
石川の森づくり推進協会	1.4	石川の森づくり推進協会	1.2	石川の森づくり推進協会	1.4	石川の森づくり推進協会	2.0
石川フォレストサポーター会	9.9	石川フォレストサポーター会	5.6	石川フォレストサポーター会	5.6	石川フォレストサポーター会	4.8
NTTドコモ(株)北陸支社	1.8	NTTドコモ(株)北陸支社	2.0	NTTドコモ(株)北陸支社	2.0	NTTドコモ(株)北陸支社	2.1
麒麟ビール(株)	19.3	ニッセイ緑の財団 (日本生命金沢支社)	14.7	ニッセイ緑の財団 (日本生命金沢支社)	15.6	ニッセイ緑の財団 (日本生命金沢支社)	15.4
のと共栄信用金庫	32.5	のと共栄信用金庫	28.7	のと共栄信用金庫	20.3	のと共栄信用金庫	26.6
(特)能登半島 おらっちゃんやの里山里海	25.9	(特)能登半島 おらっちゃんやの里山里海	17.7	(特)能登半島 おらっちゃんやの里山里海	17.0	(特)能登半島 おらっちゃんやの里山里海	16.4
加賀白山麓 観光ネットワーク協同組合	15.5	加賀白山麓 観光ネットワーク協同組合	15.2	加賀白山麓 観光ネットワーク協同組合	8.4	金沢水ライオンズクラブ	4.7
輪島市林業研究グループ	2.5	金沢水ライオンズクラブ	3.9	金沢水ライオンズクラブ	3.2	森林公園地域振興会 金沢森林総合エコグループ	4.7
		森林公園地域振興会 金沢森林総合エコグループ	1.6	森林公園地域振興会 金沢森林総合エコグループ	2.0	北國銀行(株)	0.9
		北國銀行(株)	1.6	北國銀行(株)	1.1	(特)世界の砂漠を緑で包む会	3.9
				(特)世界の砂漠を緑で包む会	3.2	生活協同組合コープいしかわ	1.0
				生活協同組合コープいしかわ	0.6	富士通(株)北陸支社	1.1
						TOTO(株)北陸支社	0.7
						講来信用金庫	24.0
						石川コンピュータセンター(株)	1.3
						麒麟ビールマーケティング (株)石川支社	6.3
合計	108.8	合計	92.2	合計	76.6	合計	115.9

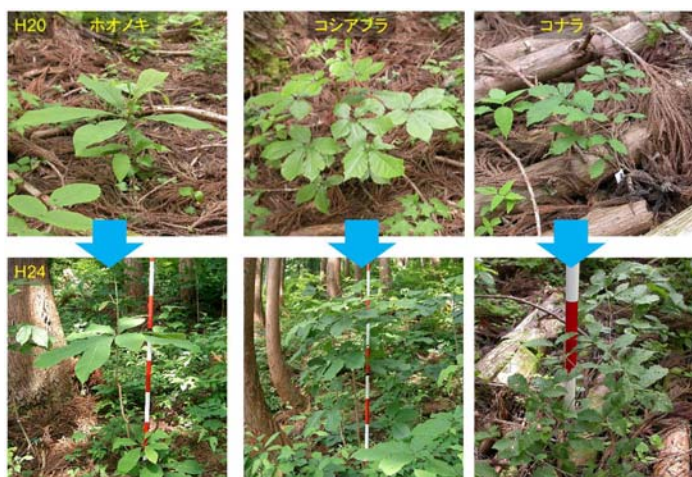


谷本知事より証書を交付

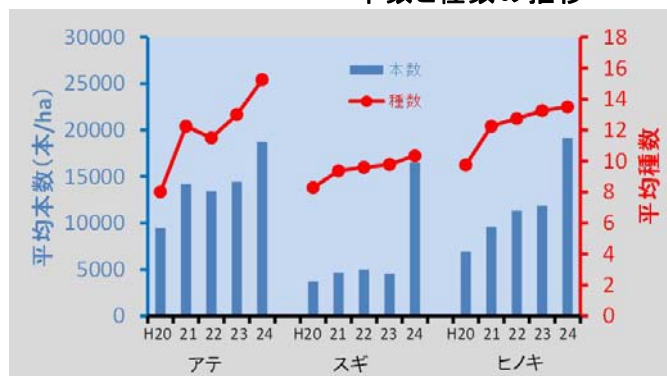
Ⅲ 環境林モニタリング調査

これまでの環境林モニタリング調査の結果については、スギ林、アテ林、ヒノキ林それぞれにおいて、強度間伐実施後5年間、広葉樹の稚樹が本数、種数とも増加する傾向が認められ、平成24年度には特にスギ林において急増した。

高木性広葉樹の生育状況



強度間伐後5年間の高木性広葉樹の  
 本数と種数の推移



・H24に急増(とくに、スギ林)  
 ⇒前年に、ケヤキなど種子が豊作  
 ⇒強度間伐の影響で実生の生存率が向上

## 主な広葉樹の本数密度(H24:上位5種)

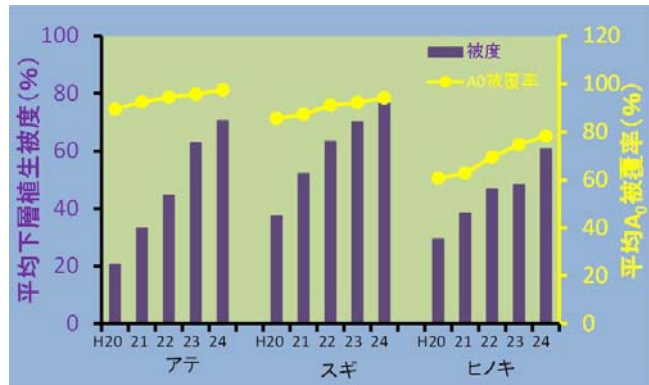
アテ林		スギ林		ヒノキ林	
樹種	本/ha	樹種	本/ha	樹種	本/ha
イヌシデ	10,275	ケヤキ	11,197	アオハダ	6,500
シロダモ	2,900	ウワミズザクラ	756	イヌシデ	3,025
ヤマグワ	575	コシアブラ	709	コシアブラ	1,400
ネムノキ	550	ウリハダカエデ	472	ヤブツバキ	900
アワブキ	500	シロダモ	384	ヤマザクラ	475

※周辺広葉樹林にみられる樹種が更新し、ほとんどが増加傾向にある  
 ※鳥により散布された樹種が多い傾向がみられた

また、スギ林、アテ林、ヒノキ林それぞれにおいて、強度間伐の実施後5年間、下層植生被度、A<sub>0</sub>層被覆率とも増加する傾向が認められた。

### 強度間伐後5年間の下層植生被度及びA<sub>0</sub>層被覆率の推移

- ・下層植生被度:増加傾向  
H20:21~36%⇒H24:61~74%
- ・A<sub>0</sub>層被覆率:増加傾向  
H20:61~90%⇒H24:78~98%



### ○侵入竹除去等における環境林モニタリング調査

侵入竹除去等による森林の公益的機能の回復状況を、科学的・定量的に把握するため、平成24年度よりモニタリング調査を県内20ヶ所を実施。平成24年度の侵入竹除去直後のモニタリング調査の結果は、種数が9種類以上となった地域が1ヶ所、本数が3000本/ha以上となった地域が7ヶ所であった。

#### 侵入竹除去直後の広葉樹の種数と本数

